

項目	内容
名称	ウインターセイボリー、ヤマキダチハッカ [英]Winter Savory、Ajedrea、Herbe de Saint Julien [学名]Satureja montana L.、Satureja obovata
概要	ウインターセイボリーは、南ヨーロッパ原産のシソ科の半常緑性草本で、ヨーロッパでは香味付けに用いられる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p> <p>■ 海外情報 ・米国では、GRASに該当する。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・フラボノイド類、ウルソル酸、オレアノール酸、揮発性油 (カルバクロール、p-チメン、リナロール、チモール) などを含む (33) 。
分析法	-
有効性	
ヒトでの 循環器・呼吸器 の 消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。

評価	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ	